

都市再生整備計画 事後評価シート
相模湖地区

平成25年3月

神奈川県相模原市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	相模原市		地区名	相模湖地区		面積	924 ha				
	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	507百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	〔道路〕市道寸沢嵐反畑、市道関口道志、市道阿津増原、市道中野小原他橋りょう補修事業〔地域生活基盤施設〕観光サインの設置〔高質空間形成施設〕小原宿周辺散策路整備〔既存建築物活用事業〕駅前観光案内所整備										
			提案事業	〔地域創造支援事業〕観光トイレ整備〔事業活用調査〕小原宿景観施設整備助成事業										
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	〔事業活用調査〕相模湖畔周辺活性化推進事業(湖畔周辺土地利用整備計画策定)		緊急雇用対策事業の対策とするため関連事業へ移行(第3回)		影響なし						
	新たに追加した事業		基幹事業	なし		事業名		なし		なし				
提案事業			〔地域創造支援事業〕乗合タクシー実証運行事業 中央本線駅周辺整備構想策定事業〔事業活用調査〕都市再生整備計画事業効果分析業務		高齢者等移動制約者の生活交通確保として必要が生じたため(第1回) 広域交通軸であるJR相模湖駅周辺のまちづくりを推進し、駅周辺の将来像を見据えた整備構想策定のため(第1回) 事業効果分析のため(第4回)		交通事故発生件数の指標に関係するが、指標及び数値目標は据え置き、影響なし							
交付期間の変更		当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	観光入込み者数	人/年	333,528	H18	350,200	H24	モニタリング	評価値	#REF!	#REF!	あり なし	施設、散策路等の整備により観光地としての魅力が向上し、観光入込み者数の増加につながった。 また、観光案内所や観光サインの設置により観光情報の発信が図られ、各施設等への誘客へとつながった。	平成25年8月
	指標2	小原の郷利用者数	人/年	10,684	H18	11,200	H24			#REF!	#REF!	あり なし	事業整備により周辺環境が向上、また観光案内所や観光サインの情報発信により施設への誘客が図られ、利用者の増加につながった。 また、地域住民主体のまちづくり活動が進められ、利用者数の増加がみられた。	平成25年8月
	指標3	交通事故発生件数	件/年	27	H18	25	H24			#REF!	#REF!	あり なし	道路整備や橋梁補修により、剥落防止やがけ崩れ防止、路側帯の明確化、歩道の新設・拡幅がなされ、地区内の交通事故減少に効果があった。また、乗合タクシーの運行により移動制約者の生活交通が確保され、安心安全な生活環境の増進に寄与した。	平成25年4月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	駅前観光案内所利用者数	人/年	#REF!	H21			モニタリング	評価値	#REF!		観光パンフレットコーナー、地域物産紹介・販売コーナーの設置により、観光や地域資源の情報提供が促進され利用者の増加につながった。	平成25年4月	
	その他の数値指標2	小原宿活性化推進会議の参加人数	人/回	#REF!	H20					#REF!		各プロジェクトの企画立案を推進会議中心で進めることにより、地域づくり意欲が高まり、参加人数の増加につながった。	平成25年4月	
4) 定性的な効果発現状況	通学路を含む道路の整備により歩道が新設され、安心安全な歩行空間が確保された。橋梁補修整備により、高速道路からの景観が改善。また、当該橋梁は観光客も利用しており、安全な散策路が確保されたとともに観光地としての回遊性が高まった。乗合タクシーの運行により、高齢者等移動制約者に対し、生活環境の増進が図られた。また、高齢者が免許を返納した例もあり、交通事故の減少等安心安全な生活環境に寄与している。駅前観光案内所内のパンフレットコーナーには地域住民とともに作成したパンフレットも設置され、観光客にも好評であり、市民と協働の観光振興が進められている。													
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス		#REF!				都市再生整備計画に記載し、実施できた					#REF!			
		#REF!				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					#REF!			
		#REF!				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築		#REF!				都市再生整備計画に記載し、実施できた					引き続き、地域需要に合わせ、運行内容の見直しなどや利用促進活動に協力。			
		#REF!				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
		#REF!				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2 - 2 地区の概要

相模湖地区(神奈川県相模原市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 魅力ある地域の形成とふれあいのある安心・安全なまちづくりの推進	観光入込み者数	単位: 人/年	333,528 H18	350,200 H24	#REF! H24
目標: 豊富な自然と観光資源を活かし、観光による地域振興を図る。	小原の郷利用者数	単位: 人/年	10,684 H18	11,200 H24	#REF! H24
目標: 市民参加による観光施策の企画立案と推進により、活力ある地域づくりを進める。	交通事故発生件数	単位: 件/年	27 H18	25 H24	#REF! H24
目標: 道路の整備により、安心・安全で人にやさしい生活環境の増進を図る。					

市道寸沢嵐反畑



中野小原他橋りょう補修事業



凡例	
■	基幹事業
□	提案事業
○	関連事業



市道関口道志



市道阿津増原



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備、橋梁補修、歩道新設により交通環境が向上し、歩行者の安全化が図られた。また、乗合タクシーを導入し生活交通が確保され、安心安全な生活環境が形成された。 小原宿周辺の散策路整備、景観整備、憩いの場の設置により、歩行者の安全性と回遊性の向上を実現。また住民により、地域資源を活かした周遊コースの開発、花植え、植栽整備等の観光振興が進められた。 小原の郷では商工会と地域住民の連携により朝市、花市、フリーマーケットなどが開催され、地域住民と観光客の交流機会が増加、施設の利用者数も増え、活力ある地域づくりが進められた。 駅前観光案内所整備により、観光客が気軽に情報収集でき、地域資源の情報発信の場が創出された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシーの運行を継続し、停留所や時刻表の見直しなど地域需要に合わせた安心安全な生活環境づくりを進める。 地域住民による散策路の巡視点検活動、回遊コース形成、朝市等を継続し、老若男女の多様な意見を取り入れながら、地域住民との協働により地区内活性化に向けた取り組みを推進する。 窓口となる駅前観光案内所を活用し、地域資源の情報提供、観光情報の発信を促進。あわせてHP等も利用し、広域的な情報発信を推進する。 利便性の高い快適な観光環境を整えるため、観光サインの設置・観光トイレの整備を実施する。